

号外！

次もやります！4月です！この二人です！

第16回 佐世保かっちえて落語会 春風亭一朝・一之輔親子会

いま、この号外チラシを手をしている人は、べらぼうにラッキーな人ですよ。なんてたって次回は、佐世保で初めての「一朝・一之輔による親子会」なんですから。落語の世界における“親子”とは“師匠と弟子”のことですが・・・もしもあなたが、落語が好きで、噺家の善し悪しがわかる人ならば、この二人の真打による親子会がどれほど必見必聴の価値ある会か、おわかりになると思います。もしもあなたが、落語初心者だとしても、次回の両師匠の高座を見聞すれば、“落語のほんとの面白さ”がわかりますよ。もっとも私たちの会は、毎回それを目指していますが。そんな、全国でもめったにない一朝・一之輔の親子会が西の端っこの佐世保で実現するのです。これを逃すと、この二人を同じ高座で堪能できる機会は、二度とない！・・・かもしれません。しかも二席ずつ、たっぷり口演していただきます。

春風亭一朝 : 1950年生まれの67歳。江戸前の噺家として人気のあった五代目春風亭柳朝の総領弟子。師匠譲りの、高座で啖呵を切る威勢の良さは天下一品であり、“江戸っ子”を演じたらこれほど似合う噺家はいないだろうと称されている。粋でいなせな江戸落語の典型的な噺家であり、大河ドラマ『龍馬伝』では役者たちへの“江戸言葉”の指導をNHKから依頼されたほど。笛の名手でもあり、歌舞伎や落語の囃子を担当するほどの腕前である。国立演芸場花形演芸大賞受賞。

春風亭一之輔 : 1978年生まれの39歳。2001年、23歳の時に春風亭一朝に入門。2012年、34歳の時に異例の21人抜きで真打に昇進。その快挙は大いに話題となるが、浮き足立つことなく、その後も精進を重ねながら芸に磨きをかけ、その勢いがあるって小気味よい落語は、いま最も面白い若手真打であると誰もが認める逸材である。師匠譲りの江戸前の伝統芸を若き感覚で演出するその独創的な高座は、古典でありながらも現代的な面白さに満ちている。国立演芸場花形演芸大賞受賞。

まさに、“この師匠にして、この弟子あり。この弟子にして、この師匠あり”。
こんな二人が佐世保で“親子会”を演ってくれるんです。どれだけ面白くなるか、“わかる人”にはわかりますよね。

前座はいつものように、我が故郷の落語っ子たちが務めさせていただきます。
嗚呼、なんて贅沢で貴重な会なんでしょう。これでいつもの料金です。
嗚呼、なんて予約したくなる会なんでしょう。
嗚呼、なんて楽しみな会なんでしょう（自画自賛かよ！）。
はい私は、自画じいさんです。

（文責・海老原靖芳）

2018年4月1日（日） 開演午後4時

佐世保コミュニティーセンター5F

大人指定席：2,500円 自由席：2,000円
小中高生：1,000円（指定席・自由席ともに同じ）
〈チケット販売は約2ヶ月前です〉

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちえて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時

-----切り取り線-----

〈指定席希望者のみご記入ください〉

◆ 指定席 大人（ ）枚・子供（ ）枚

〒

ご住所 _____

ご氏名 _____

電話・FAX 番号 _____